



# 創英の風

2023年冬号  
(第26号)

2023年12月4日発行  
発行人：上條 優子 (図書館長)  
編集人：図書・研究委員会

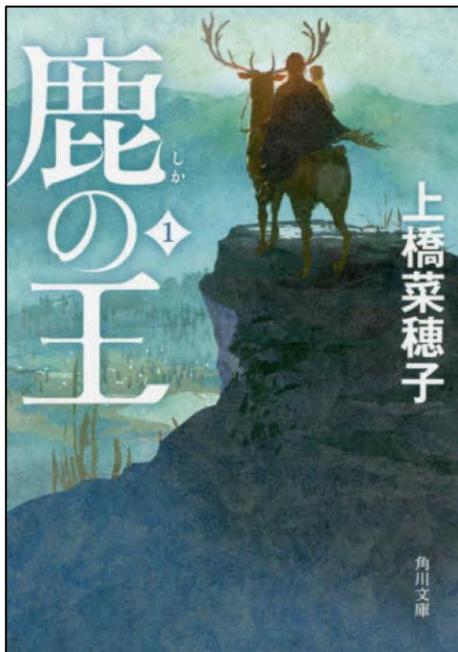
## 教職員からのおすすめ本



こども教育学部 小川 史先生  
『絵本の視覚表現 そのひろがりとはたらき』  
中川 素子, 今井 良朗, 笹本 純/著  
出版社名 日本エディタースクール出版部  
出版年月 2001年12月

絵本は、いわゆる芸術作品とは別の領域で、革新的な視覚表現を切り開いてきました。この本は、『100まんびきのねこ』やノンタンのシリーズなど、よく知られている絵本を取り上げながら、それらがどのような視覚表現の可能性を秘めているのかを解き明かしてくれます。

ふだん何気なく手に取る絵本でも、そこにどのような工夫が施されているのか、読者はあまり意識しません。けれども、じつは絵本には、絵本作家が仕掛けたさまざまな工夫が、そこかしこに秘められているのです。あらためて絵本の奥深さに気づかせてくれる一冊です。



看護学部 峯川 美弥子先生  
『鹿の王』角川文庫全4巻+別巻1  
上橋菜穂子/著  
出版社名 KADOKAWA  
出版年月 2017-2020年

主人公のガンサー=ヴァンは、戦いに敗れ岩塩鉱で奴隷として働かされていたが、犬の群れが岩塩鉱を襲撃した際に噛まれつつも生き延びた。ヴァン以外の全員が死亡したことを契機に岩塩鉱からの逃亡を決意し、同じく噛まれながらも生き延びていた1-2歳の女の子を拾い、ユナと名付け一緒に旅を続ける。またその病の治療法を探して奔走する医術師ホッサルらが愛する人たちを守るために過酷な運命に立ち向かう姿を描いている。

ヴァンの冒険やホッサルの医術への探求について読みごたえがある。そして正体のわからない感染症についてや様々な病気について、原因と対策方法を探る戦いは今なお続いており、その治療に奮闘する人が必ずいることは現在の世の中にも通じると思える小説である。



## 教職員からのおすすめ本



こども教育学部 木下 圭先生  
『カメの甲羅はあばら骨 人体で表す動物図鑑』  
SBビジュアル新書  
川崎悟司/著  
出版社名 SBクリエイティブ  
出版年月 2019年12月

脊椎動物の体は、みな人体と同じ起源の「相同器官」で構成されています。例えば、魚の胸びれは、数億年の時間をかけて、鳥の翼、ヒトの腕へと進化しました。この本ではそのような相同性の関係を、ヒトの体を無理やり変形させたイラストで理解させてくれます。絵がたいへん面白いのですが、構造と機能についての解説と、さまざまなエピソードもやさしい言葉で書かれています。解剖学には「部位別比較」が役に立つかもしれません。両学部の学生に、面白い、と言ってもらえると思います（キモい、かも？）



看護学部 荒武 喜子先生  
『一番伝わる説明の順番』  
田中耕比古/著  
出版社名 フォレスト出版  
出版年月 2018年6月

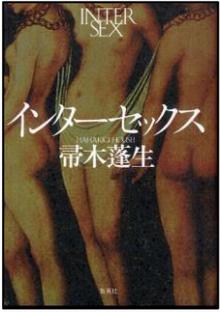
「言いたいことはあるのだけど、上手く話せない」「話しているのに伝わらない」そんな思いになったことはありませんか。どうすればわかりやすい説明ができるのか？本書は「情報を伝える順番」に着目して説明する力を上げる方法を教えてください。

説明というと、一方的に話しているシーンを思い浮かべるかもしれませんが、説明は相手の存在があってこそ。どういった順番で話すかを意識することは、相手の思考を整理しながら話すことそのものなのです。自分が考えた順番ではなく、相手が聞きたい順番で話すこと。説明には、相手の考えていることを意識しながら、物事を構造的に考える力が求められています。

少し堅苦しく感じるかもしれませんが、今日から実践してみよう！と思える実践的な内容が詰まっているのも本書の魅力の1つです。家族や友人と、実習で会う人と、様々なシーンで役立つのではないのでしょうか。日々当たり前のように行っている「説明」について少し立ち止まって振り返ってみませんか。



# 教職員・学生からのおすすめ本



学生支援課 立石 秀美さん  
『インターセックス』  
帯木蓬生/著  
出版社名 集英社  
出版年月 2008年8月

10年ひと昔。これは15年前に発刊された医療サスペンスです。著者は精神科医でもあり医学に関する作品を多く執筆されています。

タイトルはLGBTIのに該当します。LGBTQも含め、今ならテレビやネットニュース等でも目にする言葉で、医療・教育分野でジェンダーについても学んでいる皆さんはよく知っている言葉かもしれません。しかし、当時の私はこの言葉をどこかで聞いたことがある程度にしか知りませんでした。そういえばオリンピックの時に、不公平だ、不正だと話題になった人がいたなと思いつつ読みました。

生まれながらに性が決まるのではなく、生後間もなく親が選択しなければならない。その後の人生が選択された性と合致するかは不透明。他人に話せない苦悩、苦痛を抱えている方の存在が、ミステリーとして読みやすく、けれど決して軽々しいものではなく真摯に書かれています。少し古い本のためリアルタイムな社会や医療現場とのずれはあるかもしれませんが、さまざまな人と関わる職場に就く皆さん、一度読んでみてはいかがでしょうか。



図書館司書 栗山 裕子さん  
『しろいおと』  
デビッド・A.カーター/作 北村雅夫/訳  
出版社名 大日本絵画  
出版年月 2010年

子どもの頃仕掛け絵本が大好きでした。開くときのワクワクする気持ちはもちろん、閉じる時の畳まれていく様子も楽しんで記憶があります。

この本は飛び出すだけでなく、開く時に音が鳴ります。どこから鳴っているのか、どのような仕組みなのか本当に不思議です。子どもが楽しむには繊細すぎる作りになっていて、絵本を越えてアートとして楽しむことができます。

ページ毎に鳴る音が違いますのでお気に入りのページを探しに、ぜひ図書館に聞きに来て下さい。



看護学部1年生 安藤 咲さん  
『光とともに… 自閉症児を抱えて』  
全15巻+別巻1  
戸部けいこ/著  
出版社名 秋田書店  
出版年月 2001-2016年

この本は、自閉症スペクトラム障害のある少年、光(ひかる)くんとその家族の歩みを描いた漫画です。

自閉症のある子どもに特有の症状と、それゆえに起こる日常生活上の困難や、家族の葛藤、周囲の人たちの偏見と理解、児童福祉サービスや学校での特別支援の様子などが、リアルに描かれています。そのため、自閉症に関する理解と知識を深めることができます。

自閉症児を持つ子供やその家族と関わる職業を目指す方は、一度、手にとってみてはいかがでしょうか。



看護学部1年生 古木 董さん  
『君の臍臓をたべたい』  
双葉文庫  
住野 よる/著  
出版社名 双葉社  
出版年月 2017年4月

皆さんはキミスイを知っていますか？キミスイとは「君の臍臓をたべたい」の略称で、小説だけでなく、アニメや実写映画化もされている大ヒット作品です。また実写映画では、浜辺美波さんや、北村匠海さんなど有名芸能人が出演しています。

この物語は、人間関係を好まない主人公の「僕」と余命宣言をされたが、前向きで明るく生きようとする山内桜良の2人で、桜良が考えた「死ぬまでにやりたいことリスト」を叶えていく青春物語です。

誰にも想像ができないような結末や高校生活が恋しいと感じる場面があります。ドキドキしたい！感動物語をみたい！という方には是非おすすめしたい一冊です。



# 図書館からのお知らせ



## 図書館OPACサイトのログイン機能

OPACにログイン機能が追加されました。ログイン後は資料の予約、延長、現在借りている資料の確認ができます。また、学外からデータベース、電子ジャーナルへアクセスするためのID/PASSを掲載しています。使い方で分からないことは図書館までお問い合わせください。

## 冬の長期貸出

12月8日貸出分より、長期貸出対応となります。この日以降に借りた資料の返却予定日は1月11日となります。ぜひこの機会に普段読まない本も借りてみてください。

また、12月8日～1月11日の期間、貸出延長手続きはカウンターでのみ対応いたします。OPACでは手続きが不可となりますので、ご注意ください。

# 展示コーナー歳時記

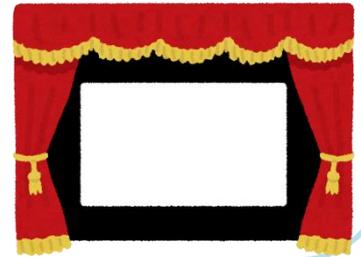
## 12月 本の貸出福袋

司書がテーマごとに選んだ本を1袋につき2冊詰め合わせた[福袋]。中身がわからないまま貸出をします。どんな本が入っているかは開けてからの楽しみ！新しい本との出会いを楽しんでみてください。



## 1月～3月 映像化された作品

映画・ドラマ・アニメ化された本を集めました。懐かしい作品もありますので、先に原作から読んで、映像化作品を楽しんでみるのもおすすめです。



# 図書館開館予定

## 2023年12月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

## 2024年1月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

- 8:30～20:00
- 10:00～17:00
- 短縮開館 9:00～17:00
- 休館日

開館日・開館時間は変更になる可能性があります。その際は、掲示等にてご案内いたします。